

令和4年10月24日(月) 松本市立島立小学校 学校だより 第7号

しまだち

学びの秋 後期スタート

今年度、島立小学校は、前期・後期で学びの評価をしています。

10月5日、子どもたちに前期の通知票が渡されました。新学年になって4月からの6ヶ月間の成長をふり返ると共に、残り半分の学びを見通し、気持ちを新たにスタートしたいと思います。

さて、2学期は、校外学習が充実する時でもあります。

6年生は10月13日、14日に静岡方面へ修学旅行に行ってきました。6年生にとって初めての泊を伴う校外学習です。(コロナの影響で4年生の頃からバスを使つての校外学習が十分にできませんでしたが)目的地や学習内容はともかく、集団行動での学びも大きかったように思います。

4年生は17日に長野見学がありました。教室で学んだことを実際の目で見て、触れて、体感する、五感を通して学ぶことができました。



3年生は、12日に島立きゅうりのハウス見学に行きました。

1学期に自分たちでも栽培した島立きゅうり。その経験を重ねながら、農家の方の話を熱心に聞くことができました。本物に触れ、視野を広め深い学びができたようです。



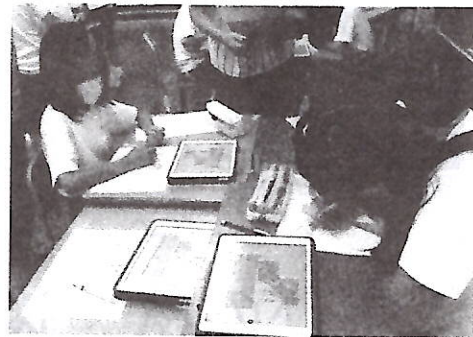
そして、特別支援学級のみなさんは、7日にふれあい教育展に参加しました。あいにく、当日は雨で会場での催しは中止になってしまいましたが、展覧会に向けた作品づくりを通して友だちと協力して活動するよさを学びました。

この後、1、2年生のスケート教室や2年生の乗り物遠足も予定されています。学校の外へ出ることで、様々な人・もの・ことに触れ、子どもたちは一回りも二回りも成長し、逞しくなっていきます。



職員も学びの秋

職員も9月、10月と外部の方と一緒に研修をする機会が続きました。9月27日には教育課程研究協議会とあって、市内各校より教員が集い本校の実践を紹介し、ご意見をいただく研究会がありました。授業公開（DVD視聴により）として3年1組さんの国語の授業を観ていただきました。物語の登場人物の気持ちを、叙述を基に友だちと対話しながら読み取っていく場面です。参観の方からは、「子どもたちが課題意識を持って、友だちの発言に耳を傾けながら、いきいきと活動している姿をみることができた。」というご意見をいただきました。10月19日には、埼玉大学教授の岩川直樹先生を講師にお招きし、授業参観や、講演をしていただきました。「子どもと向かい合うとはどういうことなのか」「子どもの自己形成の土台を教師がどう築いていくのか」というお話をしていただきました。観ていただいた授業からは「子どもがわからないと言える授業であったこと」「どんな子どもの発言にも先生が温かく受容する姿勢があったこと」といったよさを認めていただくと共に、改めて、子どもが人にふれたり、ふれられたり（関わり）する中で安心して成長していけるような環境づくりの大切さを実感させられる機会となりました。



11月の予定

- 11月 2日 2年乗り物遠足
- 4日 来入児諸検査（全校3時間授業12:00下校）
- 8日 集金日①
- 9日 集金日②
- 11日 1, 2, 6年歯科検診 クラブ⑤
- 12日 ブラスバンド島立地区文化祭演奏
- 15日 1, 2年スケート教室 3, 4, 5年歯科検診
- 21日 5年性教育講座
- 25日 光子祭（給食なし弁当持参）
- 27日 中信地区小学校管楽器交歓会
- 30日 人権参観日



※今後のコロナ感染状況により、変更になる場合はその都度お知らせしていきます。お便りやメールでご確認いただけますようお願いいたします。

終わりに

学校には大きな枋の木があります。毎年、秋になると実を落とし、一年生を中心に子どもたちは夢中で拾います。この時期は引き出しの中に拾った実が一杯！なんていう子も…。先日、その実で枋もちをつってくれた子どもたちがいます。「つくって食べてみたい」という思いが子どもたちを動かしました。あく抜きの方法を自ら調べ、大変な皮むきやあく抜きにも根気よく挑みました。そして、「子どもたちには無理じゃないかな…」という大人の心配はよそに見事に願いを実現させたのです。子どもの“～したい”エネルギーには驚かされますが、できる限り大人は見守りたいものです。

（文責 教頭：安藤 隆子）